



シミュレータ トポロジ

- [シミュレートされたトポロジと接続, 1 ページ](#)
- [シミュレータ サーバの物理的な接続, 2 ページ](#)
- [ネットワーク サービス アプライアンスの接続, 4 ページ](#)
- [AAA サーバおよび Syslog サーバの接続, 5 ページ](#)

シミュレートされたトポロジと接続

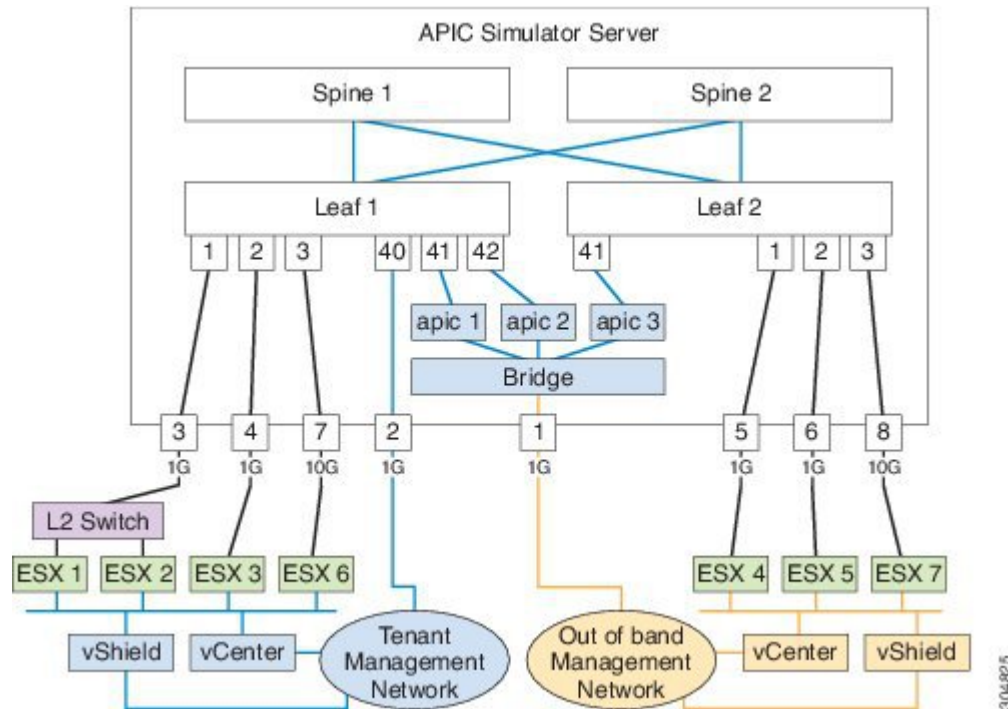
ACI Simulatorは、次のトポロジを実装しています。

- 2つのspine switch (spine1、spine2)
- 2つのleaf switch (leaf1、leaf2)
- APIC の3つのインスタンス (apic1、apic2、apic3)

これらのコンポーネントは、次のように接続されます。

- APIC インスタンス apic1 と apic2 は leaf1 に接続されます。
- APIC インスタンス apic3 は leaf2 に接続されます。
- 各leaf switchは各spine switchに接続されます。

次の図は、シミュレータ サーバ内でシミュレートされたコンポーネントと接続を示します。



この図は、複数の外部 ESX サーバの接続例を示します。シミュレータサーバポートに接続された外部サーバは、図のようにシミュレートされたリーフスイッチに接続されます。たとえば、シミュレータサーバのポート 4 に接続されたサーバは、Leaf1 のポート 2 に接続されているように見えます。

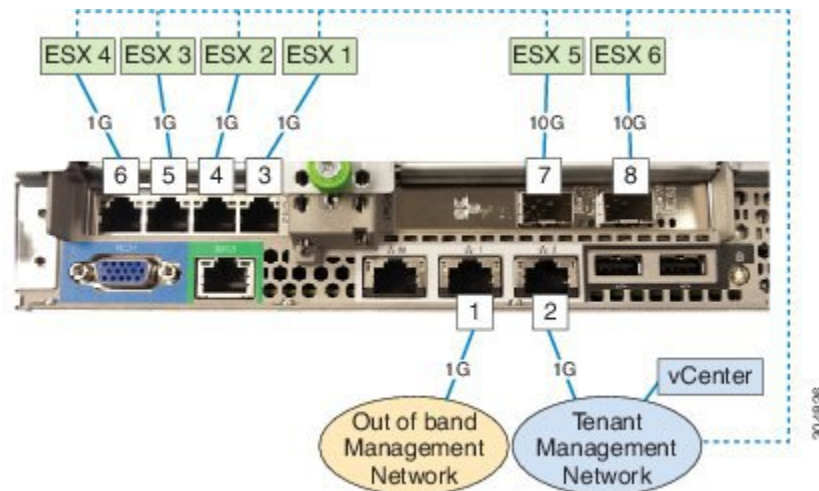
vCenter および vShield は、テナントの管理ネットワークまたはアウトオブバンド管理ネットワークを介して接続できます。vCenter および vShield への ESX 管理接続は、図に示すように、シミュレータサーバの外部にあります。



- (注) 外部サーバはシミュレータの一部ではなく、ESX サーバである必要はありません。外部サーバは、シミュレータサーバポートに直接接続するか、またはブレードスイッチなどの外部スイッチを介して接続できます。

シミュレータ サーバの物理的な接続

次の図は、シミュレータサーバの背面パネルへの物理ポート接続を示します。



APICにアクセスするには、アウトオブバンド管理ネットワークにポート1を接続する必要があります。ポート2は、レイヤ2またはレイヤ3経由で外部ネットワーク デバイスにリーフ スイッチを接続するテナントの管理ネットワークに接続できます。ポート3～8のいずれかに外部ホストまたはレイヤ2スイッチを接続できます。



(注) シミュレータサーバでは、外部ネットワーク デバイス間のデータパススイッチングは提供されません。外部サーバ上の追加のインターフェイスを介してテナントの管理ネットワークに外部サーバを接続する必要があります。

次の表は、管理および外部サーバ接続用のポートを示しています。

ポート	速度	説明
1	1G	アウトオブバンド管理
2	1G	テナント管理
3	1G	Leaf1 ポート 1
4	1G	Leaf1 ポート 2
5	1G	Leaf2 ポート 1
6	1G	Leaf2 ポート 2
7	10G	Leaf2 ポート 3
8	10G	Leaf1 ポート 3

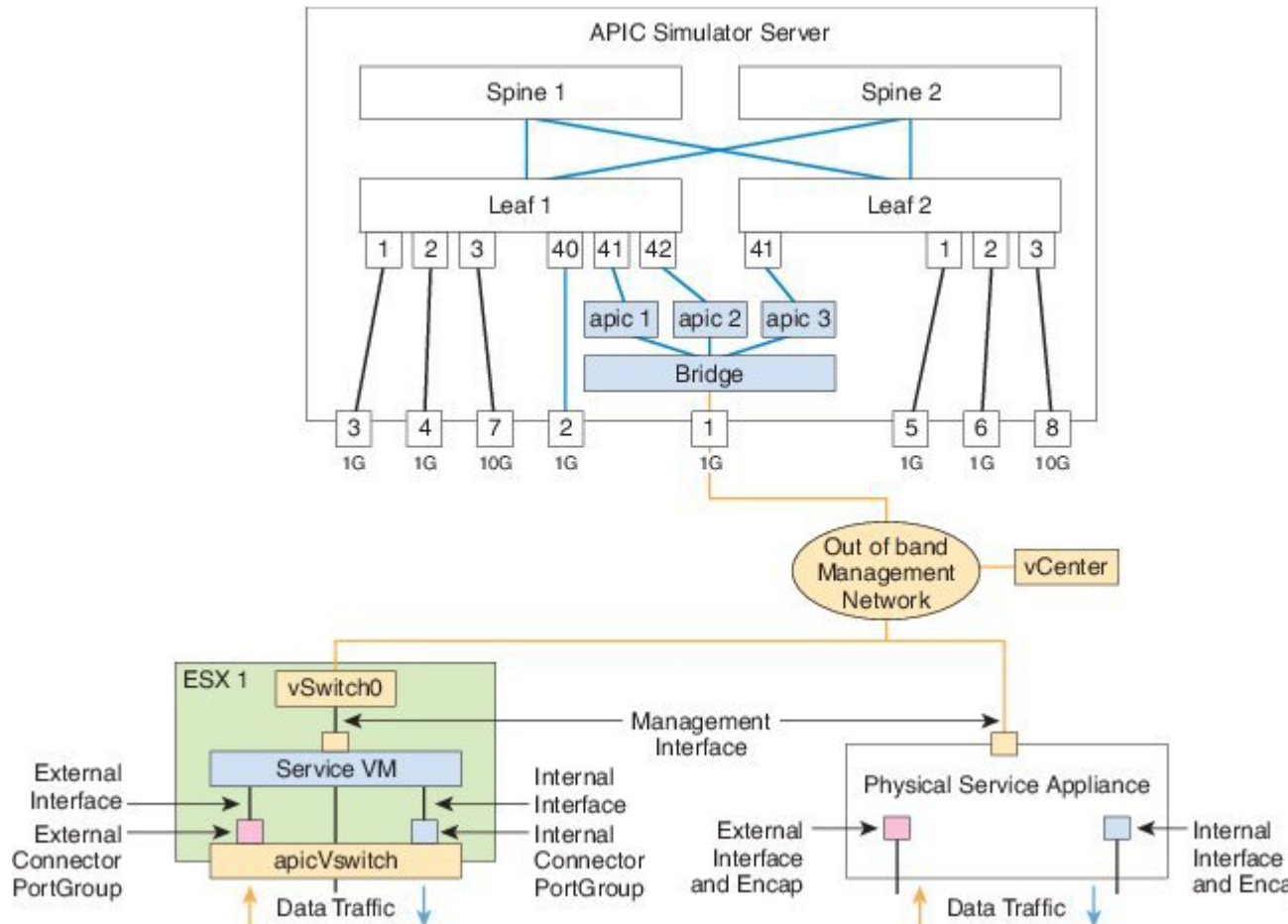
ネットワーク サービス アプライアンスの接続

ここでは、ファイアウォール（たとえば Cisco ASA）または ADC（F5 BigIP または Citrix NetScaler などのアプリケーション デリバリー コントローラ）などの物理または仮想ネットワーク サービス アプライアンスを接続する方法について説明します。

APIC のネットワーク サービス統合機能により、次の機能が自動化されます。

- サービス挿入：ネットワーク サービス アプライアンス（ノード）を介してトラフィックをリダイレクトするためのネットワークの設定
- サービス設定：エンドポイントグループおよびアプリケーション要件に基づくネットワーク サービス アプライアンスの設定

シミュレータサーバでネットワークサービスの統合機能をイネーブルにするには、次の図に示すように、シミュレータサーバにサービス アプライアンス（物理または仮想）を接続します。



物理アプライアンスの管理インターフェイスには、シミュレータサーバの Eth1 インターフェイスポートへのレイヤ 2 (L2) 接続が必要です。ネットワーク サービス アプライアンスの管理インターフェイスは、アウトオブバンド管理ネットワークに L2 接続を提供するポート グループに接

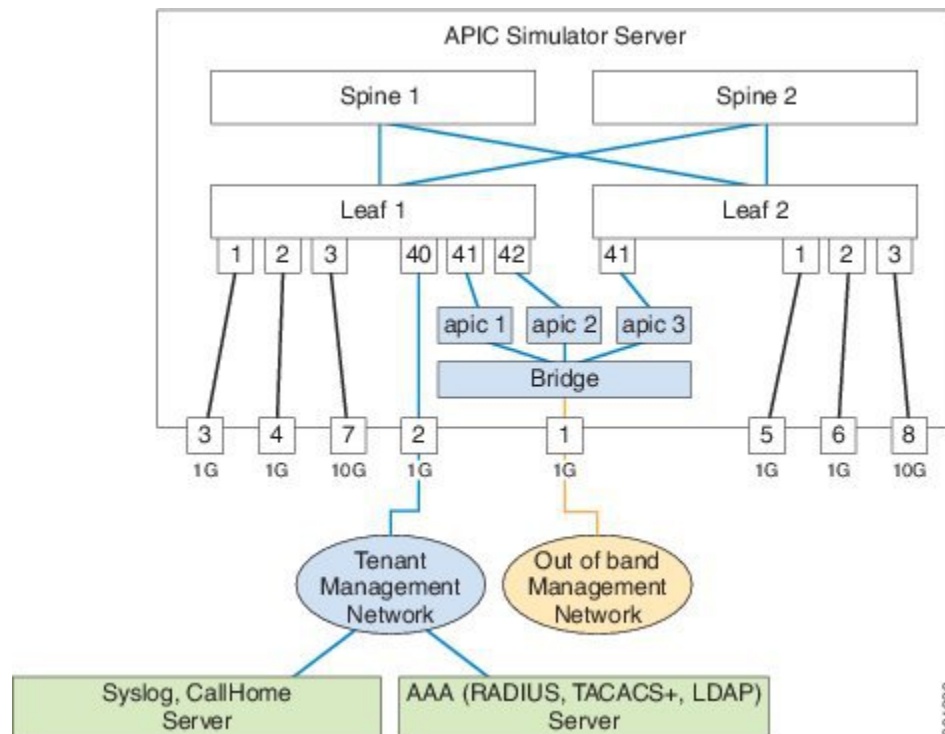
続する必要があります。また、仮想サービスアプライアンスのネットワーク接続の自動化では、仮想サービスアプライアンス VM を管理する vCenter Server に APIC が接続されている必要があります。



(注) シミュレータ サーバでは、サービス ネットワーク 構成およびサービス機能設定を検証する機能のみが提供されます。図に示すように、データ パッケージはシミュレータを通過しません。

AAA サーバおよび Syslog サーバの接続

次の図は、L2 または L3 接続を介して、AAA サーバおよび Syslog サーバにシミュレータの接続する方法を示します。外部ネットワークの設定、AAA (RADIUS、TACACS+、または LDAP) サーバの設定および Syslog (または Cisco Call Home) サーバの設定については、該当するコンフィギュレーションガイドを参照してください。



304828

